

## 航空写真

5月1日（月）、校庭で150周年記念の航空写真を撮影しました。



朝早くから業者さんが1人来校し、校庭にデザインのラインを引いていました。測量用の棒か杖のようなものを片手に持ち、もう片方の手でラインカーを引っ張っていました。歩数で距離を測っているようで、棒で地面にしるしをつけてはラインカーで白い線を引いていきます。そしてみるみるうちにマスコットキャラクターのカメの絵を描き上げていました。

2時間目になって、放送の指示で各学年が順番に校庭に出てきました。カラーエプロンを頭からかぶって首に下げ、所定の場所に並んでいきます。

次々子どもたちが校庭に出てくるときに、学校だよりに書いたイソヒヨドリらしき鳥が飛んできて、道路沿いの電柱にとまりました。そして撮影の隊形を作っている間、校庭の方に向かってさかんに鳴いていました。まるで「釜利谷小のみんなが校庭で何かやっているな？何やっているんだ？」と呼びかけてきているようでした。

全員出揃って並び、説明を受けたあと、上空にセスナ機が飛んできました。業者さんの合図で、カラーエプロンを前に引っ張って広げます。何回か撮影してから、セスナ機は飛び去って行きました。

この日、朝のうちはかなり曇っていたのですが、航空写真を撮るころにはうっすら陽が差しってきて、暑すぎずちょうどよい天気となっていました。

その後、1年生から順番に学年の集合写真を撮影しました。各学年5列ほどで四角く並び、1棟3階の窓から、業者さんがカメラを構えて撮影しました。